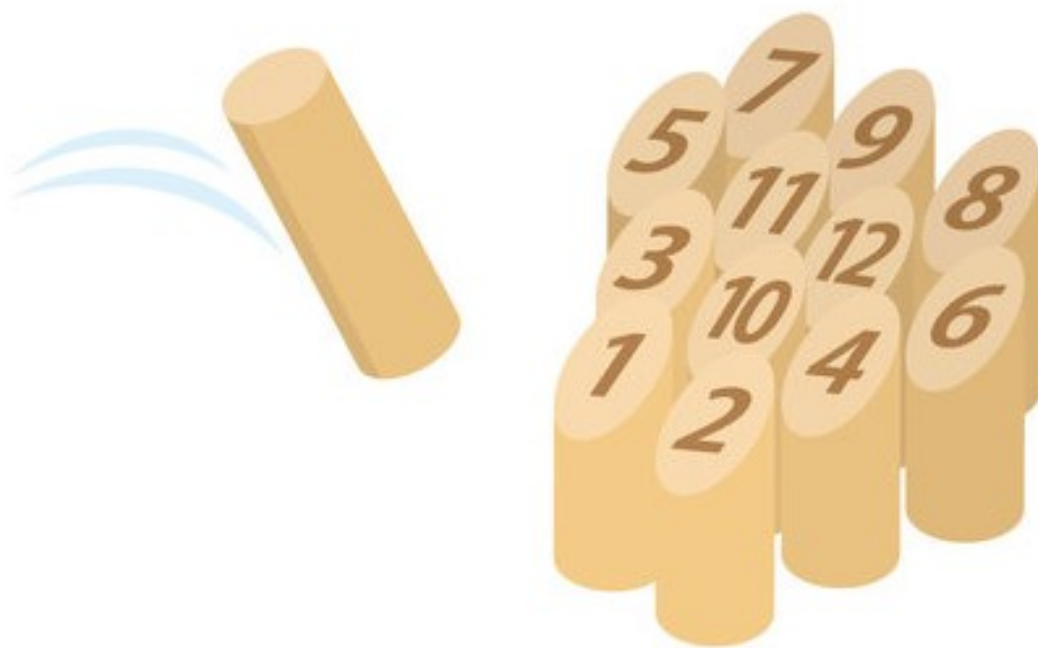


モルック

【ルールブック】



★モルックとは

フィンランド（カレリア地方）の伝統的なキイッカ（Kyykkä）というゲームをもとに開発されたスポーツが【モルック】です。

★モルックの基本ルール

- 木の棒を投げて、3.5メートル離れたところにある木の棒を倒すゲームです。
- 投げる木の棒を【モルック】、倒す木の棒を【スキttlル】、地面に置いて投げる位置を示す木の道具を【モルッカーリ】と呼びます。
- モルックを投げるときは下手投げで行うのが基本になります。
- 原則2チームで競技します。
- 1チームは5～8人（年齢性別問わず）とし、順番にかつ交互に投げます。
- 先行、後攻はジャンケンで決めます。
- コートは、縦10×横6メートル以上で行います。
- 交互にモルックを投げて倒れたスキttlルの内容によって得点を加算していきます。先に50点ピッタリにした方が勝ちです。
- 時間制の場合、試合時間が終了した時点で50点に近いチーム・個人の勝ちです。

【モルック】



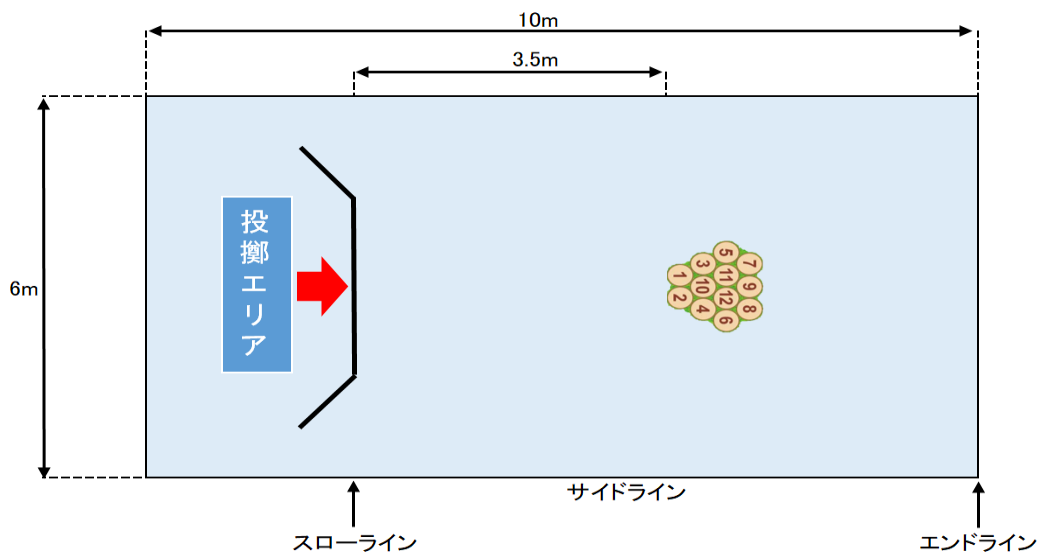
【スキttlル】



【モルッカーリ】



【コート説明】



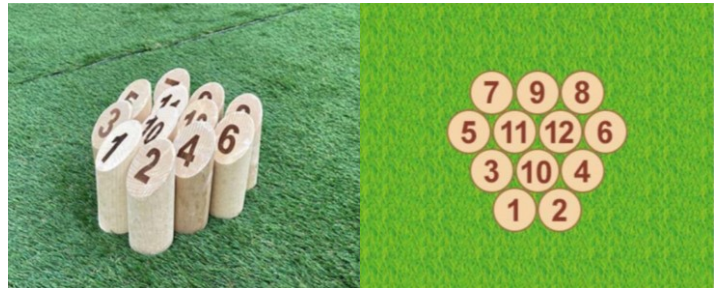
★試合の流れ

- ①モルッカーリから 3.5 メートルの距離にスキットルを並べます。初期配置は下の図のように左側が奇数、右側が偶数になるようにくっつけて並べます。

【スタート】

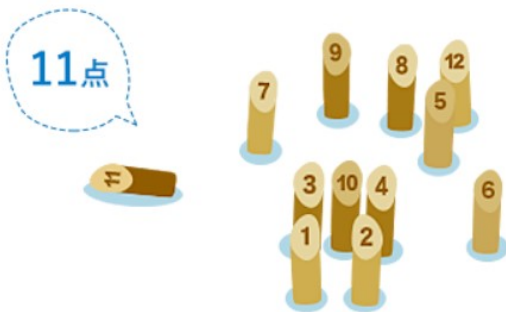


【初期配置】

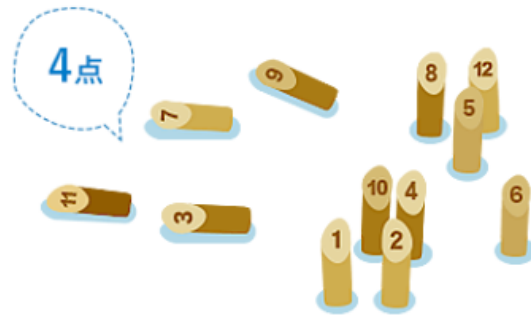


- ②モルッカーリの内側からモルック棒を投げて、スキットルを倒します。倒したスキットルの本数が 1 本の場合は、スキットルに書かれた数字がそのまま点数になります。複数本の場合は、倒した本数が点数となります。

【1 本倒した場合】



【複数本倒した場合】



- ③スキットルを倒れた地点でそのまま立て、次のプレイヤーの順番になりゲームは続行となります。これを交互に繰り返し、50 点ぴったりを目指します。

- ④スキットルが完全に倒れていない（ほかのスキットルと重なって地面についていない）場合は、そのスキットルは得点にカウントしません。

★注意点

- モルックは投げたプレイヤーが次のプレイヤーに渡します。
- 50 点を超えてしまった場合は、得点が 25 点に減点され、ゲームは継続されます。

- ミス(違反)した場合、その投擲は0点と記録され、3回連続で行うと失格となります。
→ 失投(スキットルを1本も倒せない)、モルッカーリの踏み越え、投擲順の間違え
- スキットルがコート外に出た場合は、スキットルが止まった位置から真横に動かし、コートラインよりモルック1本分内側に立てます。
- モルッカーリの踏み越え防止のため、投擲後は1歩下がって後ろもしくは横から出ます。
- モルック、スキットルは消耗品なので丁寧に扱います。